

令和4年度第1回岡崎市民病院地域医療支援委員会 会議録	
開催日時	令和4年4月28日(木) 午後2時から午後2時45分
開催場所	岡崎市民病院 西棟第5会議室
委員	(出席者) 11名 小林靖、三治宏司、市川博文、鈴木正博、片岡博喜、金澤一徳、築山高彦、永田昌子、石川紀世美、伊奈秀樹、山田健志 (欠席者) 2名 田那村収、高村俊史
事務局	地域医療連携室管理監 青木 崇、室長補佐 蟹江尚美、副主幹 岸こずえ
会議次第	1 院長挨拶 2 委員自己紹介 3 議題 1 紹介・逆紹介率向上のための取組みについて 2 その他
傍聴者	0人
議事要旨	<p>1 院長挨拶 (内容省略)</p> <p>2 委員自己紹介 (内容省略)</p> <p>3 議事 (議長) 議題1「紹介・逆紹介率向上のための取組みについて」の説明を事務局に求める。</p> <p>(事務局) 現在、かかりつけ医と連携をより強化できるように逆紹介の推進に取り組んでおり、徐々に逆紹介患者は増加している。逆紹介は原則紹介先に行っているがそれが難しい場合もある。逆紹介の推進に向けた地域医療連携システムの導入を行い、医療機関の情報を患者と共有し、スムーズな逆紹介を行い地域での役割分担を果たすことを目指している。</p> <p>次にWeb予約システムの導入について、元々当院の病診予約はFAXのみの運用であった。そのため医療機関での予約に30分ほど時間が掛かっており、患者さんをお待たせしていた。令和2年5月より、Web予約システムを導入し、現在は予約が完了したその場で患者に予約票を渡すことができるため、便利だとの声が聞かれている。</p> <p>今後はかかりつけ医制度について患者に理解してもらい、職員にも地域医療支援病院としての取り組みへの理解を得る努力をしたい。</p> <p>(委員A) 地域医療支援病院の必要条件を満たすようなデータや推移を載せて頂きたい。リアルタイムな状況の変化や、地域の利用状況がわかる資料があるとよい。近隣病院の開院によって、どこの地域がどのように変化したかなどの動向を見たり、岡崎市民病院が地域の中でどのような支援ができるのかなど議論するためにも、委員会を開催する毎に資料が必要である。</p> <p>(事務局) データはあり、院内の会議では提示されている。今後の委員会では提示する。</p>

(委員B)

この委員会では毎回紹介、逆紹介のデータが提示されており、それを元に討議していた。今回はその資料がないため何を討議してよいかわからない。

(事務局)

今後の委員会では提示する。

(委員A)

直近の紹介率、逆紹介率は？

(事務局)

3月で紹介率約70%、逆紹介率101%である。

(議長)

逆紹介率が高い理由として、積極的に再診患者を外へ出していることが要因の1つである。

(委員A)

紹介率は80%を目指すようにとされているが、この3月の結果は、分母がどのようになっているか。

(事務局)

分母は初診患者であり、新型コロナウイルス感染症の患者や、ワクチン接種患者も紹介ではなく初診に含まれているためそのような結果になったと考えられる。

(委員B)

Web予約システムを始めた時期というのは、近隣病院と比較してどうか？

(議長)

地域医療支援病院となった2009年にWeb予約システムを一度始めたが、当時Web予約になじみがなく利用される医療機関も少なかったため5、6年で辞めた。今回は二度目の開始となるが、その当時開院されている方々は、年齢層も高く、インターネットにあまり馴染みがなかったため、利用率も低かった。以前のシステムは医師会と共同開発したものであった。

(事務局)

紹介率は79%、逆紹介率は107.35%となった。

令和3年度第3四半期地域別紹介件数推移について、藤田医科大学岡崎医療センターが開院したことにより、病診予約の件数低下が大きいのは幸田町で、令和元年度比61%、令和2年度比73%となっている。

紹介患者件数が増加しているのは、当院5km圏内(Aエリア)で、令和元年度比106%、前年度比108%となっている。

一番紹介数の多い市内中心部の重複地域(Cエリア)で、令和元年度比79%、令和2年度比106%となっており、回復傾向がみられる。

地域での救急医療に関して、藤田医科大学岡崎医療センターが開院したことにより分散し当院は減少しているが病診予約による患者数は減っていない。

(議長)

Cエリアに関していうと、藤田医科大学岡崎医療センターと当院の5km圏内が重複するエリアは、藤田医科大学岡崎医療センターの開院当時と比較して患者が当院を決めるようになっている。

救急車の使用件数は、2019年度が1万500台2020年7500台となったが、これは新型コロナウイルス感染症の患者が搬送された要因がある。2021年は8500件、藤田医科大学岡崎医療センターは6000台であった。

元々当院で診察できない部分は、近隣病院にお願いしていた。

(委員C)

私のクリニックでは、実際に患者に紹介病院を確認し、患者が希望する病院に紹介している。

(議長)

救急について、二次救急は藤田医科大学岡崎医療センターに、三次救急は岡崎市民病院へという取り決めをしている。

地域全体のニーズを満たして地域医療支援病院の役割を果たしたい。

(委員A)

新型コロナウイルス感染症が終息したときに、患者動向などどのように変わっていくのかを見ていく必要がある。

(議長)

新型コロナウイルス感染症が、歯科医院はどのような影響を与えている状況か。

(委員D)

あまり変化はないと感じている。

藤田医科大学岡崎医療センターについていうと、口腔外科はないが、紹介患者の返書が書きやすい工夫をされている。

今、市民の健康志向が高いので、メディマップなど新しいシステムを使用することは良いのではないか。

(議長)

他に意見及び質問がないことを確認する。

本日の提出議案は全てご承諾いただいた旨を報告し、会議の終了を宣する。

次回は令和4年7月28日木曜日14時からを予定している。

(以上)